

スコアリングマニュアル 正誤表

財団法人 日本ソフトボール協会 記録委員会

No.	頁	項・節	訂正前	訂正後																																																
1	45	事例16-2																																																		
2	64	事例21-6	・・・入る前。	・・・入った後。																																																
3	61	事例19-7	表中：A投手に失点"3"	表中：A投手に失点"2"																																																
4	65	事例21-7	<p>事例21-7 アピール前</p> <table border="1"> <tr><th>位置</th><th>2</th><th>3</th></tr> <tr><td>5</td><td>E</td><td>N 無通告</td></tr> <tr><td>4</td><td>F</td><td>五</td></tr> <tr><td></td><td>六</td><td>八</td></tr> </table> <p>アピール後</p> <table border="1"> <tr><th>位置</th><th>2</th><th>3</th></tr> <tr><td>5(R)</td><td>E</td><td>N 無通告</td></tr> <tr><td>4</td><td>F</td><td>五</td></tr> <tr><td></td><td>六</td><td>八</td></tr> </table>	位置	2	3	5	E	N 無通告	4	F	五		六	八	位置	2	3	5(R)	E	N 無通告	4	F	五		六	八	<p>事例21-7 アピール前</p> <table border="1"> <tr><th>位置</th><th>2</th><th>3</th></tr> <tr><td>5</td><td>E</td><td>N 無通告</td></tr> <tr><td>4</td><td>F</td><td>五</td></tr> <tr><td></td><td>六</td><td>八</td></tr> </table> <p>アピール後</p> <table border="1"> <tr><th>位置</th><th>2</th><th>3</th></tr> <tr><td>5(R)</td><td>E</td><td>N 無通告</td></tr> <tr><td>4</td><td>F</td><td>五</td></tr> <tr><td></td><td>六</td><td>八</td></tr> </table>	位置	2	3	5	E	N 無通告	4	F	五		六	八	位置	2	3	5(R)	E	N 無通告	4	F	五		六	八
位置	2	3																																																		
5	E	N 無通告																																																		
4	F	五																																																		
	六	八																																																		
位置	2	3																																																		
5(R)	E	N 無通告																																																		
4	F	五																																																		
	六	八																																																		
位置	2	3																																																		
5	E	N 無通告																																																		
4	F	五																																																		
	六	八																																																		
位置	2	3																																																		
5(R)	E	N 無通告																																																		
4	F	五																																																		
	六	八																																																		
5	66	事例21-10	<p>D Pの交代</p> <table border="1"> <tr><th>交代後</th></tr> <tr><td>守備兼務のDPが、打撃専門に戻る</td></tr> <tr><td>DP</td></tr> </table>	交代後	守備兼務のDPが、打撃専門に戻る	DP	<p>D Pの交代</p> <table border="1"> <tr><th>交代後</th></tr> <tr><td>守備兼務のDPが、打撃専門に戻る</td></tr> <tr><td>DP10</td></tr> </table>	交代後	守備兼務のDPが、打撃専門に戻る	DP10																																										
交代後																																																				
守備兼務のDPが、打撃専門に戻る																																																				
DP																																																				
交代後																																																				
守備兼務のDPが、打撃専門に戻る																																																				
DP10																																																				
6	10	その他	<p>73</p>	<p>73</p>																																																
7	42	事例14-1																																																		
8	47	事例18-3																																																		
9	48	事例18-5																																																		
10	49	事例18-8	<p>事例18-5</p> <p>事例18-8</p>	<p>事例18-5</p> <p>事例18-8</p>																																																
11	44	事例14-7	<p>一死満塁。四番打者が</p> <p>この失点は自責点となり、併殺打も合わせて記録する。</p>	<p>無死満塁。四番打者が</p> <p>この失点は自責点である。なお、ダブルプレイも合わせて記録する。</p>																																																

スコアリングマニュアル 正誤表

財団法人 日本ソフトボール協会 記録委員会

No.	頁	項・節	訂正前	訂正後																				
12	50	事例18-13																						
13	45	事例16-2																						
14	34	事例3-4	<p>一死一・二塁。三番打者は・・・・・・ ・・・・一塁走者（一番打者）とともに生還したが、</p>	<p>一死一・二塁。四番打者は・・・・・・ ・・・・一塁走者（三番打者）とともに生還したが、</p>																				
15	51	事例18-15																						
16	53	事例18-20																						
17	66	事例21-10	<p>D Pの交代</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">自チームシート欄 交代前</th> <th colspan="2">相手チーム 交代後</th> <th rowspan="2">(交代の記録)</th> </tr> <tr> <th>DP6</th> <th>DP4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>守備兼務のDPが守備位置を変更する</td> <td>DP6</td> <td>DP4</td> <td>(DP6) - (DP4)</td> </tr> </tbody> </table>	自チームシート欄 交代前	相手チーム 交代後		(交代の記録)	DP6	DP4	守備兼務のDPが守備位置を変更する	DP6	DP4	(DP6) - (DP4)	<p>D Pの交代</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">自チームシート欄 交代前</th> <th colspan="2">相手チーム 交代後</th> <th rowspan="2">(交代の記録)</th> </tr> <tr> <th>DP6</th> <th>DP64</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>守備兼務のDPが守備位置を変更する</td> <td>DP6 <td>DP64</td> <td>(DP6) - (DP4)</td> </td></tr> </tbody> </table>	自チームシート欄 交代前	相手チーム 交代後		(交代の記録)	DP6	DP64	守備兼務のDPが守備位置を変更する	DP6 <td>DP64</td> <td>(DP6) - (DP4)</td>	DP64	(DP6) - (DP4)
自チームシート欄 交代前	相手チーム 交代後		(交代の記録)																					
	DP6	DP4																						
守備兼務のDPが守備位置を変更する	DP6	DP4	(DP6) - (DP4)																					
自チームシート欄 交代前	相手チーム 交代後		(交代の記録)																					
	DP6	DP64																						
守備兼務のDPが守備位置を変更する	DP6 <td>DP64</td> <td>(DP6) - (DP4)</td>	DP64	(DP6) - (DP4)																					
18	39	事例7-3	<p>〔解説〕 一塁走者のように・・・・・・</p> <p>フォースの状態に・・・・・・</p>	<p>〔解説〕 一塁走者の進塁は、不正投球による進塁とする。</p> <p>走者は、フォースの状態のあるなしに拘わらず、全て不正投球による進塁とする。</p>																				

スコアリングマニュアル 正誤表

財団法人 日本ソフトボール協会 記録委員会

No.	頁	項・節	訂正前	訂正後
19	32	ソフトボール スコアカード 記帳要領		
20	41	事例12-2		
21	39	事例8-1	<p>[解説] 打者は による進塁とし、本塁を・・・</p>	<p>[解説] 打者は による出塁とし、本塁を・・・</p>
22	43	事例14-6		
23	25	19-(1)-	<p>先発投手が勝利投手になるためには・・・ ・・・合算した回数である。(事例19-6)</p>	<p>先発投手が勝利投手になるためには・・・ ・・・合算した回数である。(事例19-6) ただし、先発投手が再出場し、に該当した場合は、合算した投球回数が4回以上に達しなくても勝利投手になる。(事例19-6-2)</p>

スコアリングマニュアル 正誤表

財団法人 日本ソフトボール協会 記録委員会

No.	頁	項・節																																																																
24	60	事例19-6-2	<p>新設</p> <p>Xチームの先発A投手は1回を投げてB投手と交代した。2回から登板した救援投手Bは、3回に同点とされ、6回無死で1点を失って逆転されたので、先発A投手が再度登板した。7回、Xチームは2点を挙げ逆転し、その裏を零点に抑えXチームが勝利を収めた。勝利投手をA投手にしたがそれによいか。</p> <table border="1" data-bbox="466 443 737 510"> <thead> <tr> <th>チーム名</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>X</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>Y</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="769 427 1203 510"> <thead> <tr> <th>投手名</th> <th>投球回数</th> <th>打者数</th> <th>打数</th> <th>被安打</th> <th>失点</th> <th>自費</th> <th>被犠打</th> <th>与四死</th> <th>三振</th> <th>投球数</th> <th>勝敗</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>3</td> <td>. /3</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>4</td> <td>. 0/3</td> <td>15</td> <td>14</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table> <p>〔解説〕</p> <p>先発投手Aは先発時の1回と再出場時の2回を合算して3回しか投げていない。しかし、A投手は逆転された6回に再出場し、7回の任務中に自チームが逆転した時の投手である。相手チームがリードしているとき(同点の場合も)に救援した先発投手が投球している間に、自チームが逆転(同点の場合はリード)してそれを最後まで維持したときは、先発投手の投球回数が4回以上に達しなくても勝利投手とする。よって、A投手を勝利投手としてよい。</p>	チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計	X	0	0	1	0	0	0	2	3	Y	1	0	0	0	0	1	0	2	投手名	投球回数	打者数	打数	被安打	失点	自費	被犠打	与四死	三振	投球数	勝敗	A	3	. /3	13	13	3	1	1	0	0	4	40	B	4	. 0/3	15	14	2	1	1	0	1	0	50
チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計																																																										
X	0	0	1	0	0	0	2	3																																																										
Y	1	0	0	0	0	1	0	2																																																										
投手名	投球回数	打者数	打数	被安打	失点	自費	被犠打	与四死	三振	投球数	勝敗																																																							
A	3	. /3	13	13	3	1	1	0	0	4	40																																																							
B	4	. 0/3	15	14	2	1	1	0	1	0	50																																																							